

2023（令和5）年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

1. 事業の成果

2023年度は、3年続いた新型コロナ禍から開放された様子が伺われたが、5月と9月に新型コロナウイルスワクチン予防接種が実施された。当会の活動にも影響があり、川まつりやヤゴの救出作戦が中止に至った。又、当会の[REDACTED]が他界され、5月15日に青葉町のまりあ幼稚園礼拝堂で葬儀ミサが行われた。当会からは11名が参列し故人に別れを告げた。なお、がたろう通信では第115号で「初代理事長小林寛治氏追悼号」を発行した。

特別事業として学習支援が実施され、青葉小学校、大岱小学校、東村山第三中学校、楽しい放課後みんな、白梅学園短期大学などの学校や一般の方向けに河原の楽校として幼児や学生、保護者に勉強会を開いたり、福祉バスでのご近所や高齢者の皆さん対象の生涯学習として川の見て歩きを行った。支援内容は（1）特定非営利活動3）環境学習支援を参照。

（1）特定非営利活動

2023年5月27日第24回定期総会で審議された上で、確定した事業計画を具現化するに当たり、理事の役割分担に基づいて事業に当たった。理事会は4回開催（この他に定例会前に理事事前打ち合わせを行った）で各事業の方針を確認するとともに、8月を除く各月の定例会で詳細を協議し事業を遂行した。

1）「子どもの水辺」区間の維持管理（馬頭橋～第二砂川橋間）

2019年3月に東京都北多摩北部建設事務所（北々建）と取り交わした「覚書」に基づき日常清掃・草刈り及び木本植物の手入れ、資機材置き場・堆肥作成施設及び手押しポンプ関連の維持管理等を行った。樹木の剪定作業は、次の日程で各ブロックごとに実施し作業を完了した。2023年11月23日、11月30日、12月14日、2024年1月18日、2月8日（小彼岸桜）、2月28日、3月4日、3月27日、最終回は天候不順で3回延期となり4月6日に実施。2月8日小彼岸桜の剪定作業には、3月に他界された[REDACTED]が参加されていました。ご冥福をお祈りいたします。

2月8日は当会以外の小彼岸桜の会のメンバーは参加されなかった。なお、今後の小彼岸桜の維持管理の在り方について、管理の主体を小彼岸桜の会としてもらうよう会長に申し入れた。

2）河川の維持管理

2023年5月19日10時半より空堀川樹木整備の件で北々建工事二課長代理他1名、御成橋近辺で近隣からの整備の依頼の件で当会と打合わせをした。

2023年6月23日 東村山市市民協働課および道路河川課とクリーンアップの協働事業ふりかえり意見交換会実施。当会から2名が出席。

3) 環境学習支援

以前より当会の学習支援は中学生のカイボリや小学生のヤゴ救出作戦などを行ってきたが、コロナ禍でそのほとんどの活動が休眠状態であった。しかし、一昨年の青葉小の先生との空堀川の体験学習の支援を皮切りに、今年度は、つばさ保育園の鯉のぼり制作とカブトムシ増殖所のお手伝い、青葉小の河原の楽校や未来プロジェクト、大岱小の空堀川独自クリーンアップと野鳥観察支援などを実施した。さらに、白梅学園短大保育課の保育士の卵の皆さんと行ったガサガサ体験、放課後等デイサービス「楽しい放課後みんな」や第三中の自然探求部の皆さんのクリーンアップ参加、など多くの団体と協力し学習支援活動に取り組んだ。また、高齢者の皆さん向けに生涯学習として川の見学会などを市の福祉バスを利用して行う事を企画した。

以上のように、今年度は学習支援活動の幅も広がり、広い世代の皆様に空堀川に関心を持って頂き、「心の中に清流を」の掛け声と共に、いつかは本当の清流を復活させることを目標に1年間通して学習支援活動を行った。

この学習支援活動をするために、環境の保全（魚や植物の保護）や空堀川の美化活動などを行い、学習支援活動の小道具として、保護した外来カメや、メダカ、カブトムシの増殖所の管理、巣箱の取り付け、適正な花壇の管理など、全ての活動が学習支援につながるという思いで活動を行った。

4) 川まつり

空堀川川まつり第22回は昨年度に続きコロナ禍のため、関係団体及び当会会員の合意の上中止に至った。但し例年の様に子どもの日を目指して4月28日から5月7日には鯉のぼりの掲揚を行った。川まつりに替わるイベントとして5月3日、5月5日に「鯉のぼりフェア」を開催し、まちかど運動実行委員会と協同で川に特化した「河原の楽校」を行った。空堀川の環境学習や投網の実演、ガサガサ、みんなで仮堰を作りカヌー、美住町自主防災組織の放水体験、巣箱づくり、などが行われた。参加した多くの市民と一緒に鯉のぼりの下で楽しんだ。

5) クリーンアップ

4月15日予定の第52回は雨天のため4月16日（日）に延期して実施した。9:00～12:00 好天にも恵まれたが、延期開催のために森永乳業（株）さんからの参加は無く、窓口担当のマネージャーの来訪を得て、多量の各種清涼飲料水の提供を受けた。

第1会場(からぼり広場)上橋～久米川橋・西武新宿線陸橋間

参加者は、大人6名、企業1名、当会5名、子供2名。

可燃ゴミ40L-8袋、不燃ゴミ40L-1袋、硝子・瓶類40L-1袋、缶40L-1袋、PB(ペットボトル)40L-1袋、自転車フレーム-1台、新品女性用瓶化粧品、傘-1本、段ボール2枚

処理は東村山市に依頼した。(行政3名)

第2会場(下堀広苑)なかよし橋～大沼田橋間(西武新宿線陸橋～なかよし橋間は事前CU)

参加者は、大人8名、当会10名、子供8名(小学生6名)。

可燃ゴミ20L-8袋、40L-12袋、不燃ゴミ40L-6袋、硝子・瓶類20L-1袋、缶40L-2袋

PB40L-2袋、石油1斗缶-1缶、ビニール傘-3本、金網1枚、処理は北々建に依頼した。

第 53 回は 11 月 18 日（土）小春日和 9:00～12:00

第 1 会場（上橋～久米川橋・西武新宿線陸橋間）では初の第三中学校の参加と、森永乳業（株）さんからの参加と多量の飲料品の提供をいただき（第 1 会場、第 2 会場共）感謝に堪えませんでした。

参加者は、一般 9 名、中学生 6 名、先生 3 名、森永乳業さん 4 名、当会は 8 名。
可燃ゴミ 60L-25 袋、不燃ゴミ 60L-3 袋、硝子・瓶類 60L-1/3 袋、PB60L-3 袋、粗大ゴミ、段ボール 40L-2 袋、金属類 60L-3 袋、ミニコンポ-1 セット、ビニール傘-2 本、電気ストーブ 1 台、小型扇風機-1 台、処理は東村山市に依頼した。（行政 3 名）

第 2 会場（下堀広苑）なかよし橋～大沼田橋間

西武新宿線陸橋～なかよし橋間は 11 月 11 日午後 1 時より事前に行った。

参加者は、一般 6 名、森永乳業さん 13 名、小学生 5 名、先生 2 名、当会は 9 名。
可燃ゴミ 40L-34 袋、不燃ゴミ 40L-14 袋、硝子・瓶類 40L-2 袋、空き缶 40L-3 袋、PB40L-4 袋、粗大ゴミ、スチロール版-7 枚、樹脂箱 1 箱、樹脂バー4 本、樹脂波板-1 枚、ラジカセ-1 台、小型 TV-1 台、LPガスボンベ-1 缶、子供補助椅子（自転車用）-1 台、水筒-1 個、ヘルメット-1 個、ビニール傘-5 本、処理は北々建に依頼した。

※第 53 回の反省点として、当会の不手際により各方面に迷惑をかけた点があった。

6) 水量・水質調査

6 月 4 日、身近な水環境全国一斉調査、参加者-当会 5 名で実施。

当会は空堀川の東大和市境の上橋・浄水橋・ふれあい橋・御成橋・野行橋、清瀬市境の大沼田橋間の約 6km と、御成橋の JR 武蔵野線の湧水を含めて PH・COD・NO₂-N・NH₄-N はパックテストで行った。今回は市内 6 箇所に水が流れていた。前々日に 200mm 以上の降雨があり流量は何時もの 10 倍、流速は 0.5m/S、水温は 22℃でいつもより低かった。EC（電気伝導率）200 μ S/cm 台であった。（通常は 1,000 μ S/cm）COD は上橋-3 mg/L、浄水橋と御成橋は 2mg/L であった。

中学生等一般の方を含めた調査実施が検討課題であったが、今回は見送りとした。

7) 放射線量測定

今年度も放射線量の測定は行わなかった。

8) 水量確保の為に活動

当会が参加している「柳瀬川・空堀川流域連絡会」は 9 月 27 日北多摩北部建設事務所 3 階で開催された。当会から 3 名が出席した。この他に 11 月 22 日視察会、3 月 13 日会議に参加した。

9) みどりの基金事業

ユリノキ広場でアジサイの挿し木を行った。

10) 普及啓発活動事業

1. 会報「からぼり川」は年4回の発行であるが、今年度は114号、115号、116号の3号と115号では同時に小林寛治さん追悼号を発行した。又116号は発行部数を600部から800部に増刷した。

2. エコライフフェアに参加

11月26日（1日限定）10時から14時30分で開催された。昨年まで東村山市中央公民館が会場であったが、今年から秋水園で開催された。参加市民団体は空堀川に清流を取り戻す会、東村山エナジー、まちかど運動実行委員会、東村山花と野菜の会、東京ガス（株）、美住リサイクルショップ運営委員会、とんぼサポーター2、東村山市環境整備事業協同組合等。

パネルによる当会の活動内容等の展示と空堀川の魚の展示を行うとともに、ワークショップは秋水園ふれあいセンターにて13時から14時15分に開催、参加者は2家族6名であった。また、展示ブース前で投網の体験教室を開催し、近隣ブースのご協力もあり当会のPRになった。

※エコライフフェア反省点

- ①会場の秋水園は市の北端にあり公共交通機関も利用しにくく、参加者が少なかった。
- ②11月の1日だけの開催で朝から小雨が降り、最高気温も8℃くらい、寒さが参加をにぶらせた。屋外でこの時期の開催に無理があったのでは？
- ③ワークショップの参加者が少なく、次回は屋外で行うなど開催場所・内容の検討が必要である。
- ④広報活動として会場内でアンケート（Q1からQ12）とクイズを実施した。11月11日～12日の市民産業まつりにおいてもアンケートとクイズを実施しており、これらの内容を精査し今後の活動に生かしていく。

3. 当会のホームページとブログの管理を行った。ブログは画像・動画を多く活用し、当会の重要なPR手段としてアクセスを増やすよう取り組んだ。

4. 会員の入退について

今年度は正会員入会0名、退会2名、賛助会員入会1名であった。

2023年度正会員40名、キッズ会員1名、賛助会員19名。

（2）河川敷維持管理事業

株式会社日比谷アメニスさんからの作業委託業務は昨年同様2件であった。

「下堀・ふれあい広苑の植え込み手入れ作業委託」と「美住町第3なかよし広場、清掃作業委託」2023年4月～2024年3月末で終了した。上記2件の委託契約を履行し法人税、法人住民税、法人市民税を納付し、余剰金を本来事業会計に繰り入れた。

2. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	第5条 条項	実施 日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
実践活動 事業	鯉のぼりフェア	(3)	2023年 5月3日、5日	WAKUWAKU 広場	延べ20名	市内住民 約1,000人	3
	クリーンアップ作戦	(4)	2023年 4月、11月	上橋～大沼田橋	延べ32名	流域約10万人	17
	子どもの水辺の 維持管理	(1)	2023年4月 ～2024年3月	WAKUWAKU 広場	延べ40名	流域約10万人	1
	空堀川花壇の整備	(1)	通年随時	市内7カ所	延べ30名	流域約10万人	13
	環境学習支援	(2)	2023年4月 ～2024年3月	青葉小、大岱小、第 三中、たのしい放課 後みんな、白梅学 園短大	延べ40名	延べ約500人	0
	水量・水質調査	(6)	世界環境デー 6月4日	市内7カ所	5名	流域約10万人	0
普及啓発 活動事業	会報の発行	(8)	年4回	会員及び 地域公共施設	延べ30名	流域約10万人	74
	ホームページ・ ブログの維持管理		通年随時	会員及び 地域公共施設	2名	流域約10万人	16
	エコライフフェア出展		2023年 11月26日	秋水園	20名	流域約10万人	0
みどりの 基金事業	みどりの基金事業	(1)	2024年3月	ユリノキ広場	1名	流域約5万人	2
河川敷維持 管理事業	広苑整備	(5)	2023年 6月～10月	下堀・ふれあい広 苑	延べ87名	流域約3万人	731
管理費			2023年4月 ～2024年3月				53

910

事業総費用 910 千円

定款第5条

- (1) 環境保全活動に関する調査研究事業及び河川環境の整備促進を通して、生態系の保全と増進に寄与する。
- (2) 川遊びを通して、子どもたちが自然と親しみ、自然を愛することのできる環境教育活動に寄与するための事業を行なう。
- (3) 河川環境の整備と、川を通して人が集まり行き交うことによって流域商店街の活性化を図っていく。
- (4) 自然保護、都市環境の整備、省エネルギー活動事業を行なう。
- (5) 河川敷の維持管理を行政から請負い、地域にとって望ましい川づくりに参加する。
- (6) 河川の水質調査、生息生物・生態系等の環境調査活動の受託。
- (7) 環境保全、水環境に関する機器の販売・検査等を行ない、水環境の整備に参加する。
- (8) 環境保全活動、環境教育活動に関する印刷物の出版・販売を行なう。
- (9) その他本会の目的を達成するための必要な事業を行なう。

2023年度 第25期) 特定非営利活動事業に係る」会計 活動計算書

2023(令和5)年 4月 1日から2024(令和6)年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

(単位 :円)

科 目	特定非営利活動に係る事業					合計
	金 額	小計 合計	河川敷維持管理事業		合計	
I 経常収益						
1. 受取会費・入会金						
会費 正会員)	72,000					
会費 賛助会員)	12,000					
会費 法人会員)	50,000					
入会金	0	134,000	0	0	134,000	
2. 受取寄付金						
会員等寄付金	149,000	149,000	0	0	149,000	
3. 受取助成金						
東京都公園協会	20,000	20,000	0	0	20,000	
4. 河川敷維持管理事業収益						
下堀・ふれあい広苑受託			646,800			
第3仲よし広場受託			365,200	1,012,000	1,012,000	
5. その他収益						
利息	2	2	0	0	2	
6. 河川敷維持管理事業会計						
からの繰入金	152,582	152,582		0	152,582	
経常収益合計 (A)		455,584		1,012,000	1,467,584	

(注) 事業の区分は、事業計画では「特定非営利活動に係る事業」と「その他の事業」に区分していたが、東京都より「その他の事業」としていた「河川敷維持管理事業」は「特定非営利活動に係る事業」に該当するとの見解を示された。このため、当会の事業は全て「特定非営利活動に係る事業」として表示する。

科 目	特定非営利活動に係る事業				
	金 額	小計 合計	河川敷維持管理事業		合計
			金 額	小計 合計	
Ⅱ 経常費用					
1. 事業費					
○特定非営利活動事業費					
実践活動事業費					
鯉のぼりフェア事業費	2,974				
クリーンアップ活動費	16,628				
子どもの水辺維持管理費	1,315				
空堀川花壇整備費	13,414	34,331		0	34,331
普及啓発活動事業費					
会報の発行	74,490				
ホームページ維持管理	16,050	90,540		0	90,540
みどりの基金事業					
消耗品	2,037	2,037			2,037
○河川敷維持管理事業					
人件費等			731,118		
法人税等充当金			128,300		
繰り出し金			6,982		
繰り出し未払金			145,600	1,012,000	1,012,000
2. 管理費					
印刷製本費	3,180				
通信費	11,608				
消耗品費	2,684				
会議費	2,400				
委託費	20,000				
損害保険料	6,000				
支払手数料	2,640				
諸会費	2,000				
租税公課	2,400	52,912			
経常費用合計 Ⅱ)		179,820		1,012,000	1,191,820
当期経常増減額 Ⅲ) = Ⅱ) - Ⅱ)		275,764	0	0	275,764
Ⅲ 経常外収益					
過年度損益修正益					
経常収益計 Ⅲ)	0	0			
Ⅳ 経常外費用					
過年度損益修正損					
経常外費用計 Ⅳ)	0	0			
当期正味財産増減額 Ⅳ) = Ⅲ) + Ⅲ) - Ⅳ)		275,764			
前期繰越正味財産額 Ⅴ)		871,370		0	871,370
次期繰越正味財産額 Ⅵ) = Ⅳ) + Ⅴ)		1,147,134		0	1,147,134

2023年度 第25期) 特定非営利活動事業に係わる」貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

(単位 :円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	479,575		
銀行預金 (がたろう)	146,390		
銀行預金 (みどりの基金)	226,552		
郵便貯金	160,654		
前払費用	4,400		
未収入金	273,900		
流動資産合計		1,291,471	
2 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,291,471
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	4,000		
未払金	12,037		
未払法人税等	128,300		
流動負債合計		144,337	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			144,337
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		871,370	
当期正味財産増加額		275,764	
正味財産合計			1,147,134
負債及び正味財産合計額			1,291,471

2023年度 第25期) 特定非営利活動事業に係わる」財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	479,575		
三菱UFJ銀行久米川支店 普通預金	146,390		
三菱UFJ銀行久米川支店 普通預金			
みどりの基金	226,552		
ゆうちょ銀行 振替口座	104,020		
ゆうちょ銀行 総合口座	56,634		
前払費用 ボランティア保険)	4,400		
未収入金 河川敷維持管理事業)	273,900		
流動資産合計		1,291,471	
2 固定資産			
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,291,471
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金 前受会費)	4,000		
未払金 業務委託費他)	12,037		
未払法人税等	128,300		
流動負債合計		144,337	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			144,337
正味財産			1,147,134
負債及び正味財産合計額			1,291,471

2023年度年間役員名簿
(令和5年度)

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	○理事・監事	タルミショウジ		令和5年4月1日	年 月 日
		垂水 荘司		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
2	○理事・監事	オカダイチロウ		令和5年4月1日	年 月 日
		岡田 一郎		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
3	○理事・監事	ワケベミツハル		令和5年4月1日	年 月 日
		分部 光春		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
4	○理事・監事	ヒラタケンイチ		令和5年4月1日	年 月 日
		平田 健一		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
5	○理事・監事	ハラダシュウジ		令和5年4月1日	年 月 日
		原田 秀二		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
6	○理事・監事	アラカワアキヒコ		令和5年4月1日	年 月 日
		荒川 昭彦		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
7	理事・○監事	オグラヤスヒロ		令和5年4月1日	年 月 日
		小倉 安洋		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
8	理事・○監事	シマザキヨウコ		令和5年4月1日	年 月 日
		島崎 洋子		～ 令和6年3月31日	～ 年 月 日
9	理事・監事				年 月 日
					～ 年 月 日
10	理事・監事				年 月 日
					～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

	氏 名	
1	島崎洋子	
2	友保邦弘	
3	安岡建依	
4	岡田一郎	
5	垂水莊司	
6	分部光晴	
7	平田健一	
8	原田秀二	
9	荒川昭彦	
10	小倉安洋	
11		
12		